

鳥取縣公報

昭和十七年二月二十七日
第 千 三 百 十 一 號

金 曜 日

本書ノ大キサハ國定規格A5判

告 示

◇鳥取縣告示第九十八號

昭和十七年縣立各中等學校ノ卒業式期日左ノ通定ム

昭和十七年二月二十七日

鳥取縣知事

土 肥 米 之

學 校 名

卒 業 式 期 日

鳥 取 縣 師 範 學 校

三月十七日附屬同月十六日

鳥 取 縣 女 子 師 範 學 校

三月十六日

鳥 取 縣 立 入 頭 高 等 女 學 校

鳥 取 縣 立 鳥 取 第 一 中 學 校

三月九日

鳥 取 縣 立 鳥 取 第 二 中 學 校

三月十一日

鳥 取 縣 立 米 子 中 學 校

三月十一日

鳥 取 縣 立 倉 吉 中 學 校

三月十日

鳥 取 縣 立 鳥 取 工 業 學 校

三月三日

鳥取縣立米子工業學校

三月五日

鳥取縣立鳥取高等女學校

三月十四日

鳥取縣立米子高等女學校

三月十五日

鳥取縣立倉吉高等女學校

三月十六日

鳥取縣立根雨高等女學校

三月十三日

鳥取縣立鳥取盲聾啞學校

三月十六日

鳥取縣立鳥取工業學校及鳥取縣立米子工業學校卒業式ハ第二本科

生徒ニツキ舉行ス

◇鳥取縣告示第九十九號

因伯牛犢生産検査規則第一條ニ依リ生産検査ヲ左ノ通施行ス仍テ

昭和十六年十一月二十四日迄ニ生産シタル犢ノ所有者又ハ管理者

ハ該犢ヲ所定ノ検査所ニ牽付クベシ

昭和十七年二月二十七日

鳥取縣知事

土 肥 米 之

01060

検査月日	検査場所	検査區域	牽付時間
二月二十七日	氣高郡 千代水村大字安良	千代水村一圓	午前十一時
同	湖山村湖山	湖山村	午後三時
同	大和村長谷	大和村	午前十一時
同	美穗村上味野	美穗村	午後三時
三月二日	大郷村金澤	大郷村	午前十一時
同	吉岡村吉岡	吉岡村	午後三時
同	寶木村富吉	寶木村	午前十一時
同	瑞穂村矢口	瑞穂村	午後三時
同	逢坂村山宮	逢坂村	午前十一時
同	正條村家畜市場	正條村	午後三時
同	勝谷村宮方	勝谷村	午前十一時
同	鹿野町鹿野	鹿野町一圓	午後三時
同	末恒村内海中	末恒村一圓	午前十一時

同	七日	中郷村龜尻	中郷村	午前十一時
同	同	青谷町青谷	青谷町	午後二時
同	九日	日置谷村奥崎	日置谷村	午後十一時
同	同	日置村早牛	日置村	午後二時
同	十日	勝部村澄水	勝部村	午前十一時
同	同	小鷲河村鷲峰	小鷲河村	午前十一時
同	同	明治村上原	明治村	午前十一時
同	同	神戶村上砂見	神戶村	午前十一時

◇鳥取縣告示第百號
 畜牛結核病預防法施行規則第三條第一項ニ依リ乳用牛及外國種種
 牡牛ノ結核病検査左ノ通施行ス所有者又ハ管理者ハ所定ノ検査所
 ニ該畜牛ヲ牽付ケ検査ヲ受クベシ
 昭和十七年二月二十七日
 鳥取縣知事 土肥 米之

01061

検査月日	検査場所	牽付區域
昭和十七年四月十二日	鳥取市吉方町	鳥取市一圓
四月十三日	立川町	鳥取市一圓
四月十四日	西町	鳥取市一圓
四月十五日	田ノ島	鳥取市一圓
四月十六日	行徳	鳥取市一圓
四月十七日	同	鳥取市一圓
四月十八日	同	鳥取市一圓
四月十九日	同	鳥取市一圓
四月二十日	同	鳥取市一圓
四月二十一日	同	鳥取市一圓
四月二十二日	同	鳥取市一圓
四月二十三日	同	鳥取市一圓
四月二十四日	同	鳥取市一圓
四月二十五日	同	鳥取市一圓
四月二十六日	同	鳥取市一圓
四月二十七日	同	鳥取市一圓
四月二十八日	同	鳥取市一圓
五月十一日	岩美郡本庄村	岩美郡一圓
五月十二日	同	岩美郡一圓
五月十三日	同	岩美郡一圓
五月十四日	同	岩美郡一圓
五月十五日	入頭郡若櫻町	入頭郡一圓
五月十六日	同	入頭郡一圓
五月十七日	同	入頭郡一圓
五月十八日	同	入頭郡一圓
五月十九日	同	入頭郡一圓
五月二十日	同	入頭郡一圓
五月二十一日	同	入頭郡一圓
五月二十二日	同	入頭郡一圓
五月二十三日	同	入頭郡一圓

◇鳥取縣告示第百一號

昭和十七年第一回産婆、看護婦、按摩術試験ヲ左ノ日時場所ニ於テ施行ス志願者ハ三月二十日迄(産婆ニ限リ三月二十四日)ニ願書、履歴書、戸籍謄本或ハ抄本、寫眞二葉(最近撮影シタル半身手札型無蓋紙)並手數料金(産婆貳圓其ノ他各壹圓)添付住所地所轄警察署經由提出ノ上當日午前八時迄ニ受験用具、辨當、印鑑攜帶出頭スベシ

昭和十七年二月二十七日

鳥取縣知事 土肥 米之

種別	日	時	場所
産婆學說	四月十四日	午前九時ヨリ	鳥取市西町縣立圖書館講堂
看護婦學說	四月十五日	同	同
同	四月十六日	同	鳥取市東町
産婆實地	四月二十八日	同	仁風閣
按摩學說	五月十二日	同	同
同	五月十三日	同	同

彙報

三月の常會徹底事項

翼賛選舉徹底・感謝貯金實踐
自給肥料増産・苧麻栽培等

(振興課)

縣では三月の常會徹底事項を次の如く決定した。

一 翼賛選舉の徹底

來る四月三十日行はれる衆議院議員總選舉に當り、内務省を中心として大政黨費會及び選舉肅正中央聯盟協力の下に、大東亞戰爭完遂を目標とする翼賛選舉徹底の舉國的國民運動を展開し以て必勝の國民志氣を昂揚して大東亞戰爭完遂に對する鐵石の決意を鞏固ならしめると共に選挙界に於ける舊來の情弊を一掃し、且つ國民の眞摯純正なる政治的意態を振起して公正明朗なる翼賛選舉を實現し、眞の國民の政治力を結集せる清新強力なる翼賛議會の確立を期すること。

二 戦捷感謝郵便貯金の實踐

大東亞戰爭に於ける皇軍將兵の偉大な戦果に對し深く感謝の

意を表すると共に、此の際特に貯蓄の増強を圖るは現下喫緊の要務であるに鑑み、感謝貯蓄運動に協力併行して恒久性ある貯金の吸收を圖るため次の如く「戦捷感謝郵便貯金實踐運動」が實施せられるので之が實踐の徹底を期すること。

イ、恒久性ある貯金を吸收するため特に定額貯金及び積立貯金を一戸一口以上勸奨し成るべく長期高額のものを以て具体的効果を收めること。

ロ、各戸に於て之を實行する外會社、工場、學校等各種團體に於ても強力に實行すること。

三 自給肥料の増産

戰時食糧の確保特に農作物の増産は大東亞戰爭遂行上絶対の要件であるが、之に欠くべからざる肥料の供給は各般の事情に依つて相當窮屈を免れない事情にある。之が對策の第一として擧ぐべきは堆肥、綠肥、厩肥、木灰等に依る自給肥料の増産を圖るにあるのであつて、目下全國各市及び町に於て展開中の「木灰供出強化運動」の徹底を期すると共に、今回農林省主唱の下に系統農會を中心として實施せられる「堆肥生産倍化運動」の目的達成に邁進し自給肥料の大増産を期すること。

四 苧麻の栽培献納

苧麻は航空用潤滑油として重要な國防資源なるに鑑み、國民

の愛國心に懇へ凡ゆる空地を利用して苧麻の栽培を奨励し、收穫種子を軍に献納せしめ以て軍用航空機潤滑油の確保を圖り國防の強化に資する目的を以て今回大政黨費會、帝國農會共同主催で全國的に「苧麻栽培運動」を展開しつゝあるので右運動の趣旨徹底を圖ると共に左の實施方法に依つて之が實踐に當ること

イ 播種用種子の配付
播種用種子は大政黨費會より縣支部を通じて市町村支部を経部落會、町内會、隣組より各栽培者まで配付し、其の他の學校、會社、工場、等の團體栽培者に對しては市町村支部より其の區域にあるものに對して配付する。

ロ 栽培指導
栽培指導には帝國農會と縣市町村農會及び其の系統機關に於て之に當る。

ハ 收穫種子の蒐集、集荷
收穫種子の蒐集、集荷に付ては在郷軍人分會が中心となつて之に當る。

ニ 關係團體の協力
協力各團體は栽培の督勵、援助、地域内集荷の協力を當る。

× × ×

國債並に 消化青少年團運動

戰時債券 消化青少年團運動

(社會教育課)

我が國嗚古の大業たる今次の大東亞戰爭を完遂する爲には、戰時財政經濟の運行を圓滑にして通貨の膨脹を抑壓し、國民生活の安定を圖つて高度國防國家体制の確立を期することが最も大切であるが、これが爲には國民貯蓄國債消化の増加が第一である。

依つて大日本青少年團ではこの國策に順應して本年度百七十億貯蓄に協力し全團員をして一層貯蓄精神を涵養して國民貯蓄の實踐を圖ると共に、組織を道して全團員の協力を依り國債並に戰時債券の消化に努め、銃後青少年の愛國運動として時艱克服の重大使命を完うすることになつたが、其の具体的法方は次の通りである。

(1) 全國單位團及び分團に於ては直に着手し、昭和十七年三月三十一日までに概ね左記金額の國債又は戰時債券(貯蓄債券報國債券)を講入する決意を以て努力する。

イ 單位團購入消化目標

青年團 拾圓以上

女子青年團	五圓以上
少年團	五圓以上
青年團	五圓以上
女子青年團	五圓以上
少年團	可成的五圓以上

② 團員は昭和十七年二月二十六日までに成るべく左の標準により夫々購入する。

青年團役職員	五圓以上
青年團員	
女子青年團員	可成的五圓以上
少年團員	

なほ、この青少年團の貯蓄及び國債・債券の消化は一面消費の節約に依るの勿論であるが、他面積極的な勤勞の強化に依つてその源泉を増加するやう留意し、特に時局下に於ける生産の増大を圖ることの重大なる所以を明かにして團体的實踐を圖るを肝要とする。

麥の追肥について

(農務課)

縣に於ては米麥等主要食糧の増産に萬全の指導奮勵を加へ、農家又之に應じて懸命の努力を拂ひ食糧の確保に邁進しつゝあるのであるが、昔から麥は肥料で作れと云はれてゐるやうに、それ程麥には肥料は最も大切である。其處で縣では麥の追肥に付て必ず次の事項を實行するやう促すこととなつた。

- 1 施肥の時期と分量
- 1 山間地帯 にあつては三月二十日頃臨時配合肥料二號を反當り三貫乃至五貫を追肥すること。
- 2 平坦地帯 にあつては第一回追肥として二月下旬から三月上旬に亘つて同じく臨時配合肥料二號を反當り二貫乃至三貫第二回追肥として三月中旬頃同肥料を反當り三貫乃至四貫を施すこと(雪のあるところでは融雪後に追肥すること)

二 施肥の方法

1 配合肥料は下肥又は水に溶かして用ゐるか或は砂・細土とよく混ぜたものを一様に撒布し、土入れの出来る地方は施肥

① 直に土入れを行ふこと。

- 2 堆厩肥を春肥に使ふ地方は腐熟したものを成るべく早く施用すること。
- 3 砂地の地方は施肥回数を多くし、成るべく三回分施を標準として止肥は三月下旬までとすること。
- 4 成るべく人糞尿を多く施用すること。
- 5 麥には加里肥料が特に必要であるが、配給が殆どないから草木火を反當り十貫以上成るべく早く施用すること。
- 6 苦汁加里塩を施用する場合は三月中旬までに反當り三貫乃至五貫を下肥又は水に溶かして撒布すること。
- 7 本縣は大體酸性土壌が多く、其のため麥の成育が悪いから石灰を施用すること。

三 施用上の注意

- 1 元肥に石灰を施用しないところは石灰が手に入り次第必ず反當り十貫を施用すること。
- 2 石灰は遅くとも金肥施用日より五、六日前に施用し、中耕土入れに依り土壌とよく混和すること。但し中耕土入れの不能地は金肥との混合を避けるため條間又は畦の兩肩に撒布すること。

兵器献納資源回収 運動釀出金報告

金額	町村名
一金六拾六圓五拾四錢	氣高郡千代水村
一金拾九圓八拾參錢	西伯郡上道村
一金拾五圓	岩美郡本庄村
一金貳拾五圓五錢	日野郡山上村
一金四拾壹圓八拾五錢	入頭郡國英村
一金參拾壹圓五拾錢	日野郡日光村
一金七圓六拾錢	西伯郡名和村
一金拾參圓八拾七錢	東伯郡矢送村
一金四拾參圓參拾錢	日野郡江尾村
一金拾壹圓四拾五錢	西伯郡夜見村
一金貳拾六圓九拾七錢	氣高郡青谷町
一金拾五圓九拾參錢	入頭郡大村

◎行旅死亡人

一 取扱者 長野縣北佐久郡輕井澤町長
 一本籍住所氏名 不詳
 一年齡性別 推定五十歲位、男
 一人相特徴 既ニ白骨死體ナルタメ不明
 一 着衣 大部分雨露ノタメニ晒サレ腐蝕セルモ藍色木綿縹縹浴衣ヲ着シ人絹黑色兵兒帶ヲ縮ムゴム底地下足袋ヲ穿ツ黒ノ烏打帽
 一 所持品 一、黒皮褌口一ケ在中金四十二錢 一、爪切 一、毛抜一ケ 一、老眼鏡(サツク付)一ケ 一、煙草用パイプ二ケ 一、木綿針一本 一、鉄一ケ 一、細鉛筆一本 一、煙草人一組
 備考 昭和十六年十二月四日午前十一時久北佐郡輕井澤町大字長倉字横道下二、一三九番地山林中ニ白骨死體トナリ居リタルモノナリ
 一見職人風ノモノ
 右心當リノ向ハ直接該町長宛照會相成度
 一 取扱者 長野縣諏訪郡漆村長
 一 籍住所氏名 不詳

昭和十七年二月二十七日印刷
昭和十七年二月二十七日發行

一 性別及年齡 推定三十四歲位ノ女
 一 體格 身長五尺三寸位瘦形色白鼻高眉毛濃ク齒並揃ヒ一見美人頭髮黒ク密生シ洋髪外卷キニ結ビピンニテ止ム
 一 特徴 女トシテハ身長高キ方近視眼(アメ色ロイド縁眼鏡ヲ黒色サツクニ入レオリーブボツケツトニ收ム)
 一 着衣 洋裝黑色純毛オーバ(赤色純人絹裏付)紺サ1ジツ1ピース(白ノ裏付)ヲ着ス肌着トシテ白メリヤスシヤツ及赤黒白ノ格子縞人絹平織ワイシヤツヲ着シ首部ニトキ色婦人用茶色婦人用マフラーヲ纏フ
 婦人用茶色長靴下ヲ穿テ臀部ヲ靴下止ニテ止ム赤革製ハイヒールヲ穿ツ
 一 所持品 布製模様付ハンドバック一ケ日用品袋一ツ旅行案内萩原作太郎全集一ツ東京松坂屋ネーム付洋傘一本布製褌口一ケ金四圓八十三錢在中
 一 遺書 ナシ
 右ハ本年十一月三十日諏訪郡漆村二、六〇五番地ニ於テ變死體ヲ發見同日午後五時檢視ヲ受ケ同時ニ本村共同墓地ニ假埋葬ニ付ス
 右心當リノ向ハ直接村長宛照會相成度

鳥取縣鳥取市東町
發行者 鳥取縣
鳥取縣高郡大正村大字古海
印刷所 鳥取刑務支所